



2025年度 山岳医療救助機構 主催
アウトドア ファーストエイド 講座
ベーシック・リフレッシュ・バックカントリーコース
募集要項



初版 2025年2月20日
二版 2025年9月26日

ICAR 加盟 山岳医療救助機構

1. 趣旨

災害時や登山などの野外やインフラの整わない環境において傷病者が発生した場合、現場での迅速な応急・救命処置を実施するためには、居合わせた人の技能が求められ、多くは非医療者に該当します。また、被災地や山岳地、野外における応急・救命処置は、都市部における処置とは異なる側面を持ち、医療者であっても学ぶ機会は非常に限られています。リソースの限られた環境の特性を踏まえた正しい知識と適切な応急・救命技術は、医療資格に関わらず身につけることが可能であり、その技能を身につけた救助・救急要員の養成、市民による災害対応技能の向上、登山者や野外活動者の自助能力の獲得は、救助者の安全と人命救助、後遺症の軽減に資するところです。また、日常生活においても、COVID-19の感染拡大により医療資源の逼迫を社会として支援するためにも、自助、共助能力を拡大することが望まれます。

近年、この分野の研究が進み、国際的な知見のアップデートの速度が上がってきています。本講習では、欧州や北米のみならず本邦からの新しい知見等に基づき、日本の病院医療、法規、救助事情とも整合性を持ったカリキュラムを構築しております。また、主催者は、各種救助・救急要員、高校山岳部、大学生等の指導者向けテキスト等にも情報を提供しており、アウトドアに関わる予防と応急処置技能の標準化、および水準の維持・向上を目指した包括的なアウトドア医療教育の一つとして展開する講習会です。医療的な指導は、専門の知見を有する医師が行うことで、間違った知識の普及を防ぎ、正しい知識と技術の習得を広めるよう配慮されています。

2. 主催 ICAR(国際山岳救助協議会)加盟 山岳医療救助機構

3. 後援 スポーツ庁、独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所

4. 期日、開催地、申込日程

コース	開催期日	開催場所	参加条件	申込受付期間	受講連絡日	講習開始・解散時刻	
						受付	開始/解散
ベーシック	A	5月30日(金)	安藤百福センター(長野)	救助隊員・ 救急隊員限定	4月7日9時~5月2日24時	5月7日	8:30 9:00/19:30
	BC-S	5月31日(土)-6月1日(日)	安藤百福センター(長野)		4月7日9時~5月2日24時	5月7日	8:00/14:30
	ABC-S 少人数	6月2日(月)- 4日(水)	安藤百福センター(長野)	3日間受講できる方	4月7日9時~5月2日24時	5月8日	8:45 9:00/14:30
	A	7月4日(金)	安藤百福センター(長野)	全ての方	5月12日9時~6月2日24時	6月6日	8:30 9:00/19:30
	BC-S	7月5日(土)- 6日(日)	安藤百福センター(長野)	(救助・救急隊員も可)	5月12日9時~6月2日24時	6月6日	8:00/14:30
	A	1月23日(金)	長野県山岳総合センター(長野)	救助隊員・ 救急隊員限定	11月17日9時~12月15日24時	12月18日	8:30 9:00/19:30
	BC-W	1月24日(土)-25日(日)	長野県山岳総合センター(長野)		11月17日9時~12月15日24時	12月18日	8:00/14:30
	A	2月20日(金)	長野県山岳総合センター(長野)	全ての方	12月15日9時~1月12日24時	1月15日	8:30 9:00/19:30
	BC-W	2月21日(土)- 22日(日)	長野県山岳総合センター(長野)	(救助・救急隊員も可)	12月15日9時~1月12日24時	1月15日	8:00/14:30
リフレッシュ※	6月22日(日)	東京都内	ベーシック夏終了者	4月14日9時~5月7日24時	5月12日	9:30	10:00/16:00
	2月19日(月)	長野県山岳総合センター(長野)	ベーシック冬終了者	11月10日9時~12月8日24時	12月12日	9:30	10:00/16:00
アドバンス (隔年)	2027年1月下旬開催	北海道札幌市手稲山	ベーシック修了者他	2025年度開催なし、2026年度開催		12:30	13:00/15:00
バックカントリー(隔年)	1月10日(土)- 11日(日)	スキー場近隣(長野 or 新潟)	3種の神器が使用できる雪山愛好家	11月10日9時~12月8日24時	12月12日	9:30	10:00/14:30

(注意1) リフレッシュコースは日帰り受講、バックカントリーは通い受講、他は宿泊型講習ですご注意ください。

(注意 2) アドバンス、バックカントリーコースは、隔年交互に開催します。2025 年度はアドバンスの開催はありませんのでご注意ください。

5. 開催場所

- 独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所：〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦峯寺ブナ坂6 076-482-1211
- 安藤百福記念アウトドアアクティビティセンター：〒384-0071 長野県小諸市大久保1100番 0267-24-0825
- 長野県山岳総合センター：〒398-0002 長野県大町市大町8056-1 0261-22-2773
- アドバンス：札幌手稲山中および手稲パラダイスヒュッテ周辺（〒006-0000 札幌市手稲区金山172-1）
- リフレッシュ夏：東京都内代々木公園周辺（予定）
- リフレッシュ冬：新潟 or 長野県内（予定）
- バックカントリー：新潟 or 長野県内スキー場近隣（予定）

6. コース構成

[1] コース概要

全コースにおける指導内容は、国際山岳連盟医療委員会（UIAA Medcom）、国際山岳救助協議会医療部会（ICAR Medcom）、ISMM（国際登山医学会）、WMS（Wilderness Medical Society）等のガイドライン、コンセンサスに則り、随時最新の知見を更新し、日本の病院内医療、救助実態、法規と整合性を配慮した内容となっています。講義と実技実習、屋外での実践トレーニングを組み合わせた構成です。医療講師は専門の知見を有する医師で構成し直接実技指導を行います。

[2] コース種類

種類		目的・期間	対象者概要(12.の受講資格に詳述)
ベーシック コース	夏(S)	アウトドア活動で通年必要な知識と技術を習得する全5日コース	山岳・野外活動に関わっている人、本講習に興味のある人
	冬(W)		
リフレッシュコース		知識と技術のブラッシュアップを行う日帰りコース、感染対策	ベーシック該当コースを受講済みの人（注1）
アドバンスコース		実践能力を高める2.5日コース	① ベーシック全修了認定を受けた人（注1）、 ② 山岳経験（雪山経験が年間7日以上かつ3年以上、及び積雪期野営経験10回以上）、 の①②の2つを満たすこと
バックカントリー コース		バックカントリーで必須の知識と技術を習得する2日コース	①バックカントリー・冬山登山愛好家 ②3種の神器を使用できること の①②の2つを満たすこと、ABCの受講有無は問いません

（注1）一般社団法人日本登山医学会主催時の終了者を含む。

[3] 伝達講習の禁止

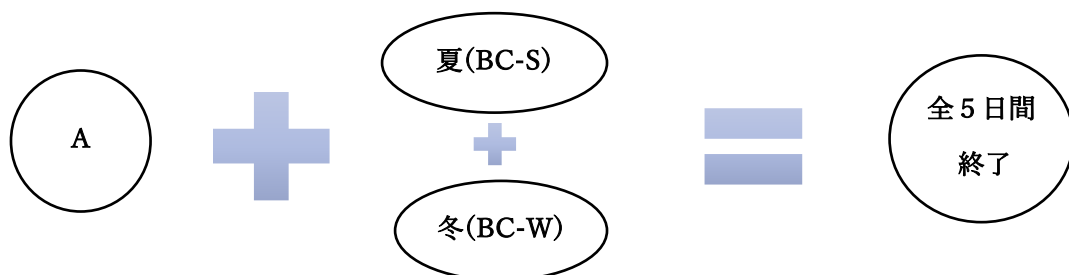
本講習は伝達目的では行っておりません。個人のスキルアップを目的として構成したカリキュラムです。よって、以下の3つの理由により、伝達講習を禁止しております。①過去に、伝達講習により間違った知識や理解の普及が行われたこと、②本講習内容は知的財産であること、③受講生への公平性を損なうこと。

7. コースカリキュラム

[1] ベーシック

(1) カリキュラム構成

カリキュラムは A, B, C に分かれ、全カリキュラム 37 時間で構成されます。カリキュラム A は基本となるため、全カリキュラムの初めに受講して下さい。カリキュラム B と C は夏コースと冬コースで異なる内容となり、Summer と Winter の頭文字を用い、夏コースでは B-S, C-S、冬コースでは B-W, C-W と称します。夏コース、冬コースどちらからの受講でも構いません。各コースは 3 日間ですが、カリキュラム A は初回時のみ必須のため、全カリキュラム (A, B-S, B-W, C-S, C-W) の履修は最短 5 日で終了します。希望者は A を 2 回 (計 6 日間) 受講することも可能です。その場合受講料の割り増しはありませんが、A 資料の再配布はありません。



(2) カリキュラム内容

	時間	講義	実技	評価・試験
A	9※	山岳ファーストエイドの概念、法規、 <u>感染対策</u> 、3SABCDE 初期評価（総論、各論）、ショック、外傷（総論・各論、止血）	<u>感染対策</u> 、3SABCDE、頸椎保護、心 肺蘇生、体位・移動、外傷処置、固定	実技評価
B-S	12	内科疾患概論：糖尿病、喘息、アナフィラキシー 環境関連疾患概論：熱中症、高山病、落雷、熱傷、火山	屋内・屋外シナリオトレーニング	実技評価・ 筆記試験
B-W	12	内科疾患概論：心臓病、高血圧症、AED、脳卒中 環境関連疾患概論：低体温症、雪崩埋没、溺水、凍傷	屋内・屋外シナリオトレーニング	実技評価・ 筆記試験
C-S	5.5	A, B-S の知識と実技を実践的に生かす屋外シナリオトレーニング		総合技能評価
C-W	5.5	A, B-W の知識と実技を実践的に生かす屋外シナリオトレーニング		

※ A 夏・冬両受講で計 18 時間、総受講時間 53 時間

(3) 受講の際の注意

- ① A は全カリキュラムの初めに受講して下さい。B, C は A の受講後に、受講できます。A 1 日のみの受講、ABC 連続での受講いずれも可能です。
- ② B, C はそれぞれ連続する 2 日間で受講が必要です。B, C どちらか 1 日のみの受講はできません。
- ③ 一般社団法人日本登山医学会主催時に受講開始した方で受講コースが残っている方の継続受講を受付けます。

[2] リフレッシュ

リフレッシュコースは、ベーシックコースで学んだ知識と技術の復習と研鑽を目的に、夏と冬に各1回、年2回開催します。夏開催ではA,BC-Sの復習、冬開催ではA,BC-Wの復習を行います。講義とシナリオトレーニングを行います。また、医学、救助技術、資機材は日進月歩であり、新しい知見を随時紹介します。

[3] アドバンス

アドバンスコースは、積雪期に開催します。ベーシックコースの夏と冬で学んだ知識と技術を基礎に、季節を問わず実践できる高い技能の習得と向上を目的としています。ベーシックコースカリキュラムの十分な習熟と、豊富な山岳経験を前提として行います。実際の救助事例に基づいたトレーニングを行います。

[4] バックカントリー

バックカントリーコースは積雪期に開催され、屋内講義と雪上演習を組み合わせた実践的なトレーニングを行います。初期評価の要点、低体温症への対応、雪崩埋没時の救助について、最新の知見を随時紹介しながら指導します。講師はICAR雪崩埋没ガイドライン改訂メンバーや実際の雪崩救助に従事した専門家で、実践的かつ最新のアプローチを学ぶことができます。

8. 受講に関わる費用

[1] 受講料

公的機関様等におかれましては、受講料のお見積、請求書の発行が可能です。

弊機構は「適格請求書発行事業者」です。

ベーシック

[社会人]

3日間 (A,B,C) 受講時	49,500 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)	
2日間 (B,C) 受講時	33,000 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)	※3を確認下さい
1日間 (A) 受講時	16,500 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)	

[学生]

3日間 (A,B,C) 受講時	1名で参加する場合：	一人 29,700 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)
	2名で参加する場合：	一人 25,410 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)
	3名以上で参加する場合：	一人 21,450 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)
2日間 (B,C) 受講時 ※3	1名で参加する場合：	一人 19,800 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)
	2名で参加する場合：	一人 16,940 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)
	3名以上で参加する場合：	一人 14,300 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)
1日間 (A) 受講時	1名で参加する場合：	一人 9,900 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)
	2名で参加する場合：	一人 8,470 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)
	3名以上で参加する場合：	一人 7,150 円 (税込、資料代・傷害保険料含む)

- ※1 学生料金の適用は受講年度に26歳以下とします。
- ※2 定員制のため、一度にお受けできる学生の数には制限の出る場合があります。
- ※3 ベーシック不合格による追加受講は無料（合格まで責任もって指導致します）

リフレッシュ

5,500 円（税込、資料代・傷害保険料含む）

アドバンス

49,500 円（税込、資料代・傷害保険料含む）

バックカントリー

37,400 円（税込、資料代・傷害保険料含む）

[2] 宿泊及び通い受講について

- ベーシック：通い受講不可。宿泊受講のみとなります。
- リフレッシュ：日帰り受講のみ。
- アドバンス：通い受講不可。宿泊受講のみとなります。
- バックカントリー：2日間の通い受講のみとなります。（宿泊は各自で）

[3] 宿泊費・食費

ベーシック・アドバンス・バックカントリーのいずれのコースも、宿泊費・食費は当日個人精算となり、受講料金に含まれません。

（参考）ベーシック3日間受講の場合で1万～1万3千円前後。但し、会場、材料費等の高騰により変動があります。

9. 保険

受講生および講師とスタッフを加入対象者として、公益財団法人スポーツ安全保険の文化活動区分に事務局で加入します。講習中に私事外出時の事故は保険適応外です。

10. 担当・講師

講習会開催責任者・責任医師 大城和恵

医療講師 国立登山研修所医療班講師 水腰英四郎

UIAA/ICAR/ISMM 認定国際山岳医 香川茂雄、佐藤真司、笹尾 玄、土井 理、三原文直他

医学博士 川本雅司、木野田文也、濱田 拓、吉田和夫他

救助技術講師 村上富一(元北海道警察山岳遭難救助指導官・航空隊特務隊長・機動隊特務中隊長・水難救助部隊長)他

11. 試験と評価

[1] ベーシック

(1) 筆記試験

カリキュラムB終了後に、筆記試験全20問、30分の○×試験を行ないます。70点以上が合格です。試

試験終了後問題解説と結果発表を致します。65 点以下の受講生には、3 日目の朝に再試験を行います。不合格者は、次回コースで再々試験を受けることができます。最終合格発表は、全講習終了時となります。

(2)実技評価

カリキュラム A, B の講習中に、実技評価を行ないます。実技の習得目標に則り、評価を行ないます。70 点以上が合格です。基準に満たない受講生にはそのポイントを解説します。筆記試験後に実技補講を行ない、再度評価します。評価結果の発表は、全講習終了時となります。

(3)技能評価

カリキュラム C のシナリオトレーニングでは、知識と実技を実践的に生かす技能評価を行います。基準に満たない場合、反復して行い再評価します。筆記試験で不合格者や実技が不十分であった受講生も、ここでの技能評価が高ければ最終評価に反映されます。逆に、実技と筆記試験が高得点でも、技能評価が基準を満たさないと、実践で生かせないということになり最終評価が低くなります。結果発表は、全講習終了時に行ないます。

(4)修了認定

A のみ受講終了した場合は、受講証明書を発行します。各コース (A, B-S, C-S または A, B-W, C-W) の筆記試験、実技試験、総合技能評価の全ての基準を満たした人へは、basic provider 認定証を授与します。初回 (夏または冬) コースで評価基準を満たさなかった場合、A カリキュラムについては残り (冬または夏) のコースで再評価を行ないます。夏冬コースともに各評価基準に満たない場合、合格まで無償で追加受講ができます。修了後の更新制度はありません。

[2] リフレッシュ

可否はありません。過程を修了した場合は修了証を授与致します。

[3] アドバンス

(1)筆記試験

開始時にベーシック講習の内容から筆記○×試験を行います。試験内容は最新の知見まで盛り込みますので、受講年度以降に更新されている内容を含む場合があります。2 日目終了時に再度筆記試験を行います。合格には、①2 日目試験 80 点以上、②開始時試験と 2 日目試験の合計 140 点以上、①②の両方を満たすことが必要です。

(2)実技・技能評価

繰り返しトレーニングを行いながら、医療的な適切性、現場の環境に応じた判断力、的確な統率力、山の基本技術を評価します。

(3)修了及び合格認定

過程を修了した場合は修了証、基準を満たした場合に合格証を授与致します。基準に満たない場合は再受講可能ですが有料となります。

[4] バックカントリー

可否はありません。過程を修了した場合は修了証を授与致します。

12. 受講資格

以下の [1] + [2] を満たすこと。

[1] すべてのコースにおいて必要な要件：

(1) 伝達講習の禁止 (6.[3]の項を十分に理解し遵守できる人)

(2) 持病や体調が管理できていること

野外での活動を行うこと、グループ単位での実技を行うこと、開催場所によっては近隣に病院がないことから、持病・負傷・体調不良など体調管理ができていない場合、妊娠中、感染性疾患罹患の疑い（インフルエンザなど）等の場合には、申込後でも主催者側の判断で、受講をご遠慮いただくことがあります（この場合はキャンセル料金発生の対象となります）。

(3) その他、感染対策等の対応に理解と協力ができる人。

[2] コース別受講資格

[ベーシック]：山岳・野外活動に関わっている人、本講習に興味のある人

（注意1）救助・救急隊員コースは、公的救助隊員のみが対象です。

（注意2）6月4~6日開催は少人数平日コースで、どなたでもお申込頂けますが、3日間全日参加できることが条件です。

[リフレッシュ]：リフレッシュ(夏) → ベーシック夏(A,BC-S)修了者、ベーシックコース全修了者（注1）。

リフレッシュ(冬) → ベーシック冬(A,BC-W)修了者、ベーシックコース全修了者（注1）。

ベーシック全修了認定を受けていなくても、該当コース受講済みであれば受講頂けます。

[アドバンス]：①ベーシック全修了認定を受けた人（注1）かつ

②山岳経験（雪山経験が年間7日以上かつ3年以上、及び積雪期野営経験10回以上）

①②の2つを満たすこと

（注3）：一般社団法人日本登山医学会主催時の終了者を含む

[バックカントリー]：①バックカントリー・冬山登山愛好家 かつ

②3種の神器を使用できること

①②の2つを満たすこと、ABCの受講有無は問いません

13. 定員と催行条件

ベーシック 24名程度（最低催行人数12名）

但し、ABC-Sは少人数コースにつき12名程度（最低催行人数8名）

リフレッシュ 24名程度（最低催行人数12名）

アドバンス 8名程度（最低催行人数4名）

バックカントリー 12名程度（最低催行人数10名）

- ※ 各コースの応募が多数の場合は、協議のうえ参加者を決定し、4.の項の受講連絡日をめどに受講可否を連絡します。(講師増員にて定員を増員する場合あり)
- ※ リフレッシュは先着順となります。
- ※ 最低催行人数に満たない場合は、4. の項の受講連絡日をめどに開催中止の連絡をします。

14. 申込方法

上記 12.該当者で参加を希望する方は、4.の項の申込期間内にホームページより会員登録の上、お申込下さい。

<https://sangakui.jp>

(右の QR コードからもアクセスできます)



15.受講料お支払いとキャンセル規定

- (1)振込期限 受講決定者に連絡致します。
- (2)振込先 受講決定者に連絡致します。
- (3)参加できなくなった場合の受講料の返金について

原則、運営者側の責任により開催出来なくなった場合のみ、受講料をお返しします。

- ①開催日から 15 日前：支出済経費、振込手数料を除いた額を返金。
- ②開催日から 14 日未満：支出済経費、振込手数料、キャンセル料を除いた額を返金。
 - 7～13 日前 キャンセル料 30%
 - 2～6 日前 キャンセル料 50%
 - 前日および当日 キャンセル料 100%

【問い合わせ先】

山岳医療救助機構 アウトドアファーストエイド講習会事務局(平日9時～17時)

tel: 090-9514-8110

e-mail: info@sangakui.jp

改訂歴

初版 2025 年 2 月 20 日

二版 2025 年 9 月 26 日：3.後援記載修正、4. 注1、8 [2]、13.において以下を修正 (バックカントリーコース-通い受講に変更、最低催行人数変更)